

● 中国 松本憲治

広島。2018年の広島交響楽団は《広響、新時代》というメインキャッチフレーズで、前年度四月からの新しい音楽監督、下野竜也に湧いた感がある。まず定期演奏会は定期演奏会の総タイトルを「愛」とし、1月の第376回～11月の第385回までの10回。今日評価の定まって来ている現代オーケストラ曲が演目のスタンダードに。第376回：ルトスワフスキ「管弦楽のための協奏曲」（指揮／秋山和慶）、第377回：芥川也寸志「交響管弦楽のための音楽」（指揮／下野竜也）、第380回：バーンスタイン「交響曲第2番〈不安の時代〉」（指揮／秋山和慶）、第381回：ザンドナーイ「フルートとオーケストラのための夜想曲」（指揮／カーチュン・ウォン）、第382回：細川俊夫「冥想3月11日の津波の犠牲者に捧げる」、メシアン「輝ける墓」（指揮／準・メルクル）、第384回：フサ「ブラハ1968年のための音楽」（指揮／下野竜也）。1月の第376回は秋山和慶「終身名誉指揮者就任記念」としての定期。会場は全て広島文化学園HGBホール。

また、新ディスカバリー・シリーズ「黄昏の維納（ウィーン）」は音楽監督の下野の指揮で第4回（2月）～第7回（12月）まで。一般に親しめるスッペの序曲やシューベルトの交響曲に加え、ヴェーバーン、シェーンベルク、バルクの作品を。会場はJMSアステールプラザ大ホール。

8月、恒例の平和コンサートは秋山の棒でブラームスの交響曲第3番とピアノ協奏曲第2番を。また「フラッグシップ・コンサートを」Music for Peace」として1月に福岡公演を。このコンサート事業は2016～2020文化庁委託事業「平成30年度戦略的芸術文化創造推進事業」。東京オリンピックが開催される2020年に向けて、国際平和文化都市であり世界的な認知度を持つ「広島」のオーケストラとして、世界に音楽文化と平和発信する5カ年計画。3月には「すみだトリフォニーホール開館20周年記念事業」としてすみだトリフォニーホールで平和祈念コンサートを（指揮：下野竜也）。

その他、近隣の市町への地域定期公演を2月福山市、4月廿日市市、7月島根県松江市、呉市の4回。

広島ウインドオーケストラは、8月に結成25周年記念公演3「改」第50回定期演奏会を。指揮は下野竜也、ユーフォニアムソロ外園祥一郎。曲目は広島ウインドオーケストラ結成25周年記念委嘱作品の西村朗「秘儀7〈不死鳥〉」と初演曲：大胡恵「少しずつ訪れた悲しみは、いつの間にか去っていったらどうか？」他に、高昌帥、長生淳のユーフォニアム協奏曲。

ひろしまオペラ・音楽推進委員会。まずオペラとして、モーツァルトオペラシリーズ 第2弾として「イドメネオ」を9月22日、23日二日公演。指揮：下野竜也、演出：岩田達宗、管弦楽は広島交響楽団、合唱、ひろしまオペラルネッサンス合唱団。キャストは公募オーディションによる。広島で初めて本格的なオペラ・セリアが制作、公演された意義は大きい。

現代音楽シリーズとして定着した「HIROSHIMA HAPPY NEW EAR」。5月にはその「25」／ルチアーノ・ベリオ、細川俊夫、ジャチント・シェルシの作品を。Sop.とPerc×2名に

よる室内楽形式。12月、その「26」／『上野由恵 20世紀音楽への扉』、ユン・イサン、細川俊夫のFl曲。ピアノ中川賢一、細川俊夫が音楽監督で場所はオーケストラ等練習場。

その他、「フィガロの結婚」を落語の桂米園治が演出「おべらくご」を広島の歌手、アンサンブルが公演。

地元のオペラ団体の公演としては、まず3月に広島シティーオペラが「アイダ」、広島国際オペラスタジオが「蝶々夫人」、10月にイタリアオペラの夕べ実行委員会が「椿姫」、広島オペラアンサンブルが「メフィストフェレ」を。

東広島市。東広島芸術文化ホール「くらら」では、2月にオペラ「椿姫」をヴィータ・ムジカレ主催、くらら共催で。また、東京藝術大学音楽学部主催、くらら共催で早期教育プロジェクトin東広島が開始。講師は伊藤藤。2019年2月に公開レッスン。東広島くららジュニアオーケストラが2月に第3回定期演奏会。指揮はもりてつや。

廿日市市。今年度から市制施行30周年を期に廿日市文化スポーツ振興事業団が芸術文化事業団と改称、5月、アマチュアとプロの混成管弦楽団での式典演奏を経て、オペラ・ガラ・コンサートを9月に。また、所属のプロの室内合奏団およびジュニア弦楽合奏団の編成準備に取り掛かっている。

岡山。岡山フィルハーモニック管弦楽団は、3回の定期演奏会。まず3月第55回定期：ベートーベン／交響曲第8番、ショスターコビチ／交響曲第5番。5月に第56回定期：チャイコフスキー／「Vn協奏曲」と「交響曲第5番」。10月第57回定期：ベートーベン／「ピアノ協奏曲第5番」「交響曲第4番」。指揮は首席指揮者のハンスイェルク・シュレンベルガー。12月に「ベートーベン第九演奏会」。指揮：秋山和慶、合唱は一般公募の「岡山第九を歌う市民の会」。結成53年の岡山ジュニアオーケストラは1月に第20回記念スプリングコンサート、指揮は水戸博之。6月に第54回定期演奏会、指揮は高谷光信。

山口。シンフォニア岩国では、指定管理者サントリーパブリシティ主催で「〈オペラの「楽しみ方」～カルメン・ハイライト〉」を。山口、広島の歌手、合唱はシンフォニア・フロイデ。指揮は村上謙一郎。秋吉台芸術村では、まず第七回秋吉台音楽コンクール、4月にテューバ部門、5月に弦楽器部門。8月に「小中学生のための実験音楽ワークショップ」、「支援者」として作曲の山根明季子、川上統、杉山洋一らが。その他8月にセミナーコンサートやスペシャル・ガラ・コンサートを。

島根。松江クラシックス音楽祭（音楽監督／朝枝信彦）ではオペラセミナー（全3回）を。4月にセミナー1「オペラ制作の基礎知識」、10月にセミナー2「オペラの演出」。講師は高島勲。出雲市芸術文化振興財団の出雲芸術アカデミーの活動が充実。音楽院、音楽研究院制度の中から、一般対象ながら出雲フィルハーモニー第22回定期演奏会を10月に。また合唱講座、オペラ講座、アウトリーチ事業なども。益田、グラントワ。一般公募による編成でのグラントワ弦楽合奏団が3月に東京アーテイツ合奏団との合同で第七回定期演奏会。

鳥取では、12月に鳥取県総合芸術文化祭のメイン事業として前年度から一年以上かけて制作、練習を継続して来たオペラ「ヘンゼルとグレーテル」。演出・中村敬一、指揮・大勝秀也。